

## 八々艦隊の内容

臨時議會に於て國防豫算成立の結果明治四十年來の宿題たりし海軍八々艦隊計畫は愈よ實施せらるゝこととなり大正十六年度迄に完成せらるゝ筈なるが、同計畫に屬する新軍艦の建造は来る十二年度迄に完成の筈なる所謂八六計畫に屬する戰艦巡洋戰艦等の竣成後引き續き着手せらるゝ豫定なり。

而して八六計畫に屬する戰艦巡洋戰艦巡洋艦等の中長門は既に竣成し陸奥は去る五月末日を以て進水を了し日下艤装中なり又加賀は去月川崎造船所に於て土佐は本年二月長崎三菱造船所に於て何れも起工せられ兩者共本年末乃至來年初頭迄に竣成すべく巡洋戰艦中赤城、天城の二艦は何れも本年内に起工式を舉げらるゝ豫定なり。

更に巡洋艦十二隻中多摩は木年二月球摩は昨年七月何れも進水を了し木曾は昨年六月起工せられ來春進水を見るべく北上は去月三日大井は同月十五日何れも進水式を舉げたり、又五十鈴は本月十日を以て浦賀に起工さるべく長良、名取の兩艦亦何れも年内に起工の豫定なりと云ふ、尙明年末迄に戰艦加賀、土佐の竣工を了したる後引續き巡洋戰艦高雄、愛宕の建造に着手する豫定の由なるが右兩艦の竣工に依りて茲に八六艦隊計畫は其主力艦隊の完成を告ぐる次第なるが、八々新計畫に着手せらるゝは右高雄、愛宕兩艦竣工の暁なりと云ふ。